

最高裁判所の裁判官



最高裁判所には、最高裁判所長官を含む15人の裁判官がいます。最高裁判所の裁判官は、豊富な人生経験と高い見識を持ち、法律に詳しい40歳以上の人の中から任命されます。15人のうち少なくとも10人は、裁判官、検察官、弁護士、大学法学部教授などから選ばれることになっています。

上の写真は、現在の15人の裁判官です。最高裁判所のホームページでは、裁判官の略歴なども紹介していますので、是非ご覧ください。

最高裁判所の裁判官の紹介(写真位置順)

(第一小法廷) 後列左から

泉徳治 横尾和子 深澤武久 甲斐中辰夫 島田仁郎

(第二小法廷) 中列左から

梶谷玄 北川弘治 福田博 亀山継夫 滝井繁男

(第三小法廷) 前列左から

上田豊三 金谷利広 町田顯 濱田邦夫 藤田宙靖



町田顯最高裁判所長官

(2000.3.22～ 最高裁判所判事, 2002.11.6～ 最高裁判所長官)

「先人が築き上げてきた司法の良き伝統を受け継ぎながら, 司法制度改革を実現していく中で, 国民から一層信頼される司法を確立していくため, 全力を傾ける覚悟です。」



小法廷評議風景

小法廷の評議室では, 5人の裁判官により事件の審議が行われる。

(写真右奥に座っているのは裁判所調査官)